

四半期連結決算の状況 (平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)

(単位：百万円)

	営業収益 (前年同期比)	営業利益 (前年同期比)	設備投資額	減価償却費
■ 移動通信事業	1,360,670 (△ 1.5%)	287,922 (+ 5.3%)	204,217	132,328
■ 固定通信事業	423,107 (+19.3%)	△ 25,202 (-)	60,578	62,111
■ その他の事業	32,308 (△54.7%)	△ 479 (-)	1,318	1,119
連 結	1,747,333 (+ 0.8%)	262,881 (+ 5.3%)	266,114	195,089

- (注) 1. 記載金額は百万円未満の金額を切り捨てて表示しています。
 2. 上記の連結は、連結調整等の記載を省略しており、各事業の合計と一致いたしません。
 3. 当連結会計年度より四半期連結財務諸表規則を適用しているため、前年同期業績および比較増減については参考として記載しています。

■ 移動通信事業では、当上半期における営業収益は1,360,670百万円 (前年同期比1.5%減)、営業利益は287,922百万円 (前年同期比5.3%増) となりました。

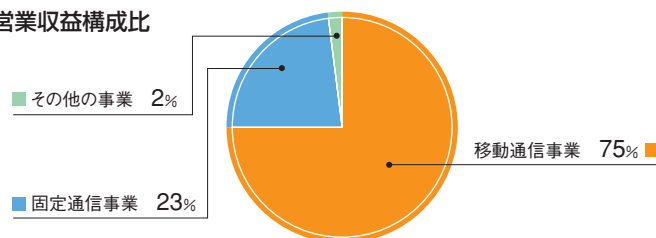
au携帯電話の契約数は、30,452千契約となり、また、「CDMA 1X WIN」のご契約数は、au全体のご契約数の69%となりました。

■ 固定通信事業では、当上半期における営業収益は423,107百万円 (前年同期比19.3%増)、営業損失は25,202百万円 (前年同期比4,279百万円損失減) となりました。契約数は、FTTHが967千契約、メタルプラスが3,251千契約、ケーブルプラス電話が429千契約、ケーブルテレビが697千契約となりました。

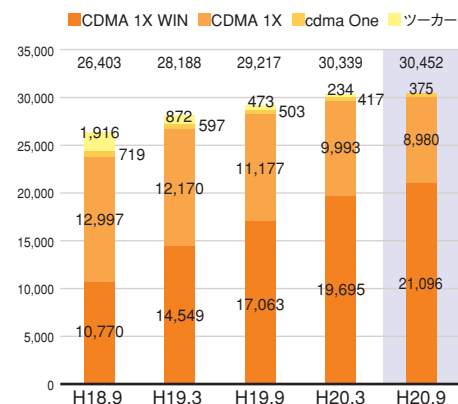
(注) 当連結会計年度より、中部テレコミュニケーション株式会社を連結子会社とし、JCNグループと海外固定系子会社等を固定通信事業へ区分変更しています。

■ これらの結果、当上半期連結累計期間のKDDIグループ連結損益状況は、
 営業収益は 1,747,333百万円 (前年同期比 0.8%増)
 営業利益は 262,881百万円 (前年同期比 5.3%増)
 経常利益は 262,230百万円 (前年同期比 3.9%増)
 四半期純利益は151,117百万円 (前年同期比 3.7%増) となりました。

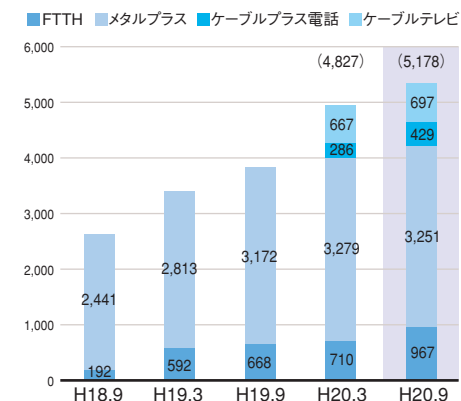
営業収益構成比



移動通信事業 累計契約数 (単位:千契約)



固定通信事業 累計契約数 (単位:千契約)



(注) () は各アクセス回線数の合計値で重複を除きます。前連結会計年度から記載。

■端末ラインナップ



本年7月4日以降、WIN初のグローバルパスポートCDMA対応モデル「W63SA」、外装や待受画面・メインメニューなどをまるごと変えることができる「フルチェンケータイ re」、VGA液晶を搭載し、ワイヤレスミュージックを楽しめる「W62SH」、やさしい「ヒカリ」の演出と、カロリーカウンターで心も体もリフレッシュできる「W64SA」、「都会的で洗練された大人に似合うケータイ」をコンセプトに、上質なデザインとトレンド機能を備えながら、使いやすさにも配慮した「URBANO (アルバーノ)」、キーが光って操作を教えてくれる「光で操作ナビ」を搭載した簡単ケータイ「W62PT」、コスメティックのように華やかでエレガントなデザインが特長の「W64T」を順次発売いたしました。

■法人向けサービス

KDDIビジネスコールダイレクト 同一法人のお客様においてあらかじめグループに登録したau携帯電話およびKDDI電話※1の間で、内線番号による国内通話を定額料金※2で提供する本格的FMCサービス「KDDIビジネスコールダイレクト」を平成21年春から提供開始いたします。このような固定電話と携帯電話の連携ネットワークサービス提供は国内通信事業者初であり、これにより、多くの法人のお客様の要望である「社内電話システムにおける携帯電話の活用」と「固定電話-携帯電話間を含めた通信コスト削減」を同時に実現いたします。

※1 KDDI メタルプラス（事業所用）、KDDI 光ダイレクト、KDDI 光ダイレクト over Powered Ethernet、KDDI-IPフォンに限ります。マイラインサービス（マイライン・マイラインプラス）は対象外です。

※2 KDDI メタルプラス（事業所用）発信、KDDI電話着信を除きます。ただし、別途ビジネス通話定額（KDDI電話間）のご契約により定額になります。

■コンテンツサービス

サザンオールスターズのデビュー30周年を記念して、本年6月25日から8月31日まで、LISMOとコラボレーションした「LISMO Recommendサザンオールスターズ」キャンペーンを実施いたしました。auのお客様限定で、サザンオールスターズの歴代楽曲、計100曲のEZ「着うたフル®※」や冠協賛した30周年記念ライブチケットの先行販売を行ったほか、「フルチェンケータイ re」のスペシャルモデル「サザンケータイ」を台数限定で販売いたしました。



また、テレビを接続するだけで、簡単に音楽や映像をお楽しみいただけるケータイ専用アミューズメント・ボックス「au BOX」のレンタルを本年11月1日より315円（税込）/月で開始いたしました。「au BOX」はCDやDVD、au携帯電話にダウンロードしたEZ「着うたフル®※」、さらにブロードバンドのインターネット環境に接続いただくと「LISMO Video Store」などでご購入いただいた楽曲やビデオの再生や、対応au携帯電話への転送が可能です。「ひかりone TVサービス」をご利用の場合は、映像コンテンツもお楽しみいただけます。この「au BOX」により、多様なコンテンツをお楽しみいただける本格的なFMBCサービスの実現に努めてまいります。

※ 着うたフル®は、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

■FTTH



FTTHサービス「ひかりoneホーム」において、2年間の継続利用を条件に、ネット+電話で月額基本料5,985円（税込）という業界最安水準の低廉な料金で

上り/下りともに最大1Gbps（ベストエフォート）の超高速通信を実現する「ギガ得プラン」を本年10月1日より提供開始いたしました。

「ギガ得プラン」では、従来の宅内機器をフルモデルチェンジした「ギガホームゲートウェイ」を提供いたします。「ギガホームゲートウェイ」は最大1Gbpsの高速通信を実現するだけでなく、無線LAN親機やUSBポートを搭載し、ゲーム機やネットワーク対応のAV機器との連携を図ることが可能であり、ご家族で簡単にデータファイルを共有できるなど、便利にご利用いただけます。

FTTHサービス「ひかりoneホーム」について、関東エリア※1へのサービス提供に加え、北海道エリア※2へのサービス提供を本年10月1日より開始し、北海道エリアにおいても「ギガ得プラン」がご利用いただけます。

※1 東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県、群馬県、山梨県の一部

※2 札幌市、北広島市、江別市、石狩市の一部

■料金サービス

おうちとケータイまとめておトク。



「KDDIまとめて請求」にご加入のご自宅の「auおうち電話※」からau携帯電話および「auおうち電話※」への国内通話料を24時間無料とするとともに、「au→自宅割」の対象のご自宅が「auおうち電話※」であればau携帯電話からご自宅への国内通話が24時間無料となる本格的なFMCサービス「auまとめてトーク」を、本年8月1日より提供開始いたしました。

「auまとめてトーク」による通話無料と、本年3月から提供しているau携帯電話の「家族割」+「誰でも割」による家族への通話無料を組み合わせることで、当社の電話サービスを一層便利にご利用いただけます。

※「ひかりone電話サービス」「メタルプラス電話」「ADSL one電話サービス」「ケーブルプラス電話」「au one netの050番号サービス（KDDI-IP電話）」の総称です。

■法人向けサービス

ロシア最大の長距離通信事業者であるRostelecom（ロステレコム）と共同で、日本～ロシア間光海底ケーブル（Russia-Japan Cable Network：以下「RJCN」）を建設し、本年9月6日より運用開始いたしました。RJCNは、大容量（640Gbps）光海底ケーブルで南北2ルート構成により一方に障害が起こっても瞬時に自動復旧する機能を有しています。当社は、ロステレコムが所有するロシア横断光ファイバーネットワークと接続し、日本～欧州間を最短ルートで結びます。これにより、伝送遅延が約30%～50%程度改善され※1、高品質で信頼性の高いサービスを提供いたします。

また、日経コミュニケーションと総務省が共同で実施した調査※2において、平成20年の広域イーサネット部門でKDDI Powered Ethernetサービスが7年連続で利用率首位を獲得いたしました。

※1 KDDIのバックボーン・ネットワークにおける比較。

※2 「ブロードバンド/モバイル/NGN時代の企業ネットワーク実態調査」

固定系インターネット接続サービス「au one net」で提供するWEBメールサービスにおいて、他のお客様のメールが閲覧できてしまう可能性があることを確認したため、本年7月25日から8月13日まで当サービスを停止させていただきました。平成19年12月19日に実施した作業の設定ミスが根本原因と判明したため、設定を修正し、再発しないことを確認の上、本年8月14日より当サービスを再開いたしました。

お客様には多大なご迷惑・ご心配をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。当社は、数多くのお客様情報を取り扱う通信事業者としての立場を改めて強く認識するとともに、再発防止に努めてまいります。

■新規事業



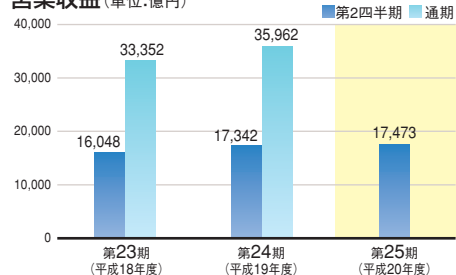
当社と株式会社三菱東京UFJ銀行が共同で設立いたしました「株式会社じぶん銀行（以下「じぶん銀行」）」は、本年7月17日より、お客様向けサービスを提供開始いたしました。当社は、じぶん銀行を所属銀行とする銀行代理業の許可を取得してじぶん銀行の「円普通預金口座」の契約締結の取次を開始いたしました。当社とじぶん銀行は、携帯電話を使った新しい金融サービスの提供により、高い付加価値を創造し、一層の「お客様満足度向上」に努めてまいります。

四半期連結損益計算書(要旨)

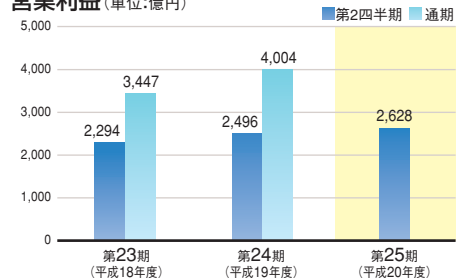
(単位：百万円)

区分	前第2四半期 (平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)	当第2四半期 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)
営業収益	1,734,266	1,747,333
営業費用	1,484,658	1,484,451
営業利益	249,607	262,881
営業外収益	9,786	8,837
営業外費用	6,982	9,489
経常利益	252,410	262,230
特別利益	209	556
特別損失	—	1,432
税金等調整前四半期純利益	252,619	261,353
法人税、住民税及び事業税	90,185	110,540
法人税等調整額	14,544	△1,549
少数株主利益	2,150	1,245
四半期純利益	145,738	151,117

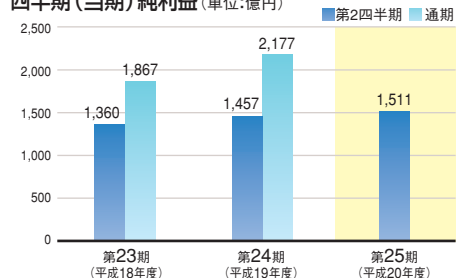
営業収益(単位:億円)



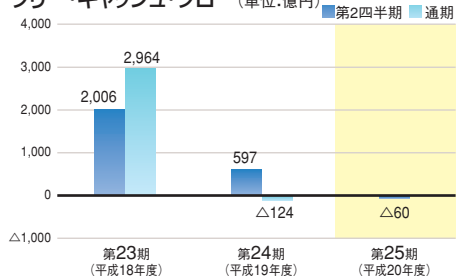
営業利益(単位:億円)



四半期(当期)純利益(単位:億円)



フリー・キャッシュ・フロー(単位:億円)



(注)単位未満の金額は切り捨てて表示しています。なお、当連結会計年度より四半期連結財務諸表規則を適用しているため、前第2四半期については参考として記載しています。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

区分	前第2四半期 (平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)	当第2四半期 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	271,169	297,622
投資活動によるキャッシュ・フロー	△211,391	△303,715
フリー・キャッシュ・フロー	59,777	△6,093
財務活動によるキャッシュ・フロー	△81,530	131,991

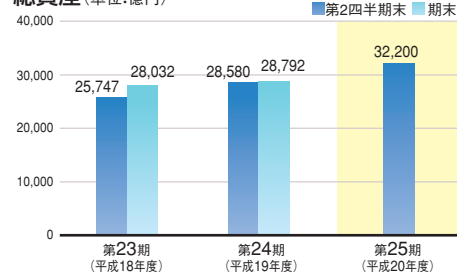
(注)単位未満の金額は切り捨てて表示しています。なお、当連結会計年度より四半期連結財務諸表規則を適用しているため、前第2四半期については参考として記載しています。

四半期連結貸借対照表(要旨)

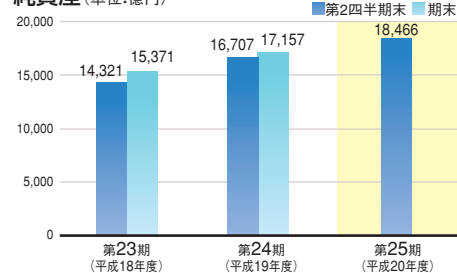
(単位：百万円)

区 分	前期末 (平成20年3月31日現在)	当第2四半期末 (平成20年9月30日現在)
資産の部		
固定資産	2,226,973	2,389,305
電気通信事業固定資産	1,811,155	1,969,697
附帯事業固定資産	128,975	129,840
投資その他の資産	286,842	289,767
流動資産	652,301	830,735
資産合計	2,879,274	3,220,041
負債の部		
固定負債	556,416	769,344
流動負債	607,127	604,079
負債合計	1,163,544	1,373,424
純資産の部		
資本金	141,851	141,851
資本剰余金	367,266	367,092
利益剰余金	1,173,826	1,300,472
自己株式	△20,265	△23,130
その他有価証券評価差額金	18,570	18,025
為替換算調整勘定	2,443	694
新株予約権	494	752
少数株主持分	31,902	40,857
純資産合計	1,715,730	1,846,617
負債・純資産合計	2,879,274	3,220,041

総資産(単位:億円)



純資産(単位:億円)



自己資本比率	58.5%	56.1%
--------	-------	-------

(注)単位未満の金額は切り捨てて表示しています。

配当金 (注)KDDI 株式会社単体の配当金

(単位：円)

	前 期 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)	当 期 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)
中 間 配 当 金	5,000	5,500
期 末 配 当 金	5,500	5,500(予定)
年 間 配 当 金	10,500	11,000(予定)

(単位:円)

